



Kamikawa Research Station



朝日の早生カボチャ

朝日アグリア株式会社 種苗部
Ver.2.5



ASAHI AGRIA CO., LTD.



待望の早生品種決定版！着果・収量・食味抜群

あじびびき

味 響



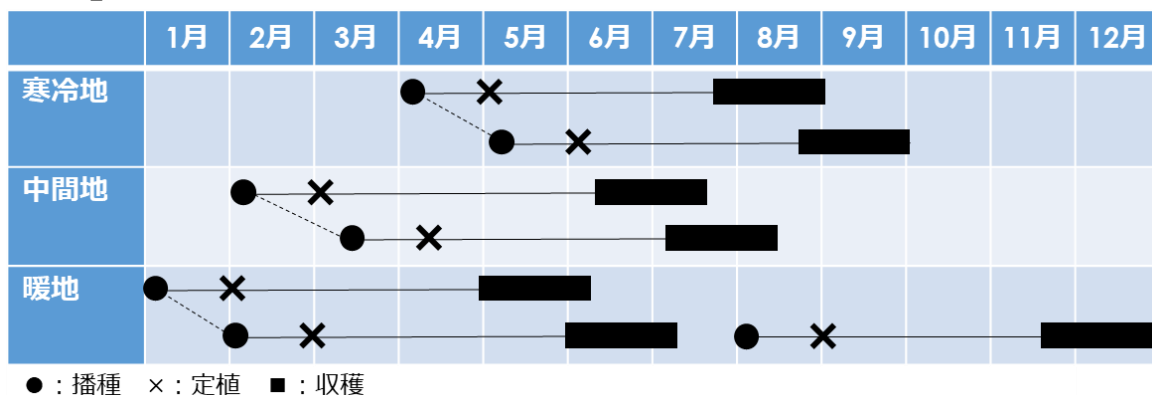
【特 徴】

- 1.果実は1.8kg前後の整った扁円形、果皮色は濃緑色、フの入る風情ある外観。
- 2.積算温度950度目安、交配後40日～収穫できる早生種。
- 3.草勢は中位、側枝が強く発生しすぎず管理作業が容易。
- 4.低温期からも花粉が安定して発生し、着果よく多収となる。
- 5.果肉は濃黄で調理後も色鮮やか。粉質で甘みも強く非常においしい。

【栽培のポイント】

- 1.肥料は窒素成分で10a当り12～13kgとやや多めとして有機肥料を中心とする。
- 2.草勢をやや強めに維持し、着果数を確保して多収を目指す。
- 3.草勢を確保してからの着果がよく、株元90cm(12～13節)から着果させるのが望ましい。
- 4.草勢が弱くなると2番果が小さくなるので、草姿をみながら追肥をする。

【適作型】



味響 現地試験栽培の様子

【耕種概要】

播種：8月9日

定植：8月19日

栽植本数：700～800本/10a

整枝方法：親づる1本整枝

株間：50cm

畝間：350cm

8月19日定植の様子



9月13日定植の様子



収穫果実



北海道調査データ（2021）

試験地：森町、整枝方法：親づる3本仕立て、栽植密度413本/10a

品種	収穫 個数	1果重 (g)	一株収穫 個数	乾物率 (%)	反収 (t/10a)	糖度 (Brix%)
早生品種K	19	2209	1.9	29.5	1.73	16.1
味響	26	2268	2.6	30.9	2.44	15.3

味響の特徴

- 整枝作業、管理作業が簡単
- 雌花雄花の開花時期が合いやすく、着果性も良いので作型問わず栽培できる
- 早生品種ながら果皮色濃く、糖化も極端に早くないため出荷時期を調整できる

強粉質の早生種、果揃い良く収量安定

フリメラエース

早生品種の切り札
フリメラエース
登場



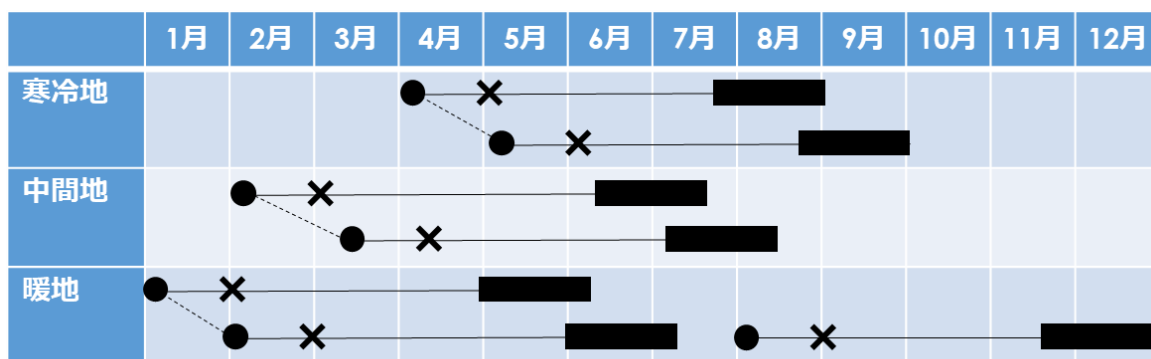
【特 徴】

1. 果実は1.8kg以上の整った扁平形。果皮は濃緑色で外観に優れる。
2. 交配後40～45日で収穫できる早生品種。
3. 花粉が大変多く、寒い時期でも着果が安定。雌花の着生も安定しており多収。
4. 果肉は肉厚、肉質は強粉質、メルティング質で大変おいしい。
5. 葉は中葉で葉柄も短く、葉折れ・倒伏少なく風に強い。

【栽培のポイント】

1. 肥料は窒素成分で10a当り12～13kgとやや多めの管理とする。
2. 草勢をやや強めに維持し、着果数を確保して多収を目指す。
3. 草勢を強くして、株元70cmから着果させるのが望ましい。
4. 後半、草勢が大人しくなると品質面に影響するので、肥料切れしないよう追肥を行う。

【適作型】



●：播種 ×：定植 ■：収穫

収穫してすぐに出荷できる早生大玉種

フリメラビスタ

フリメラビスタ
はスペイン語で
一目惚れ



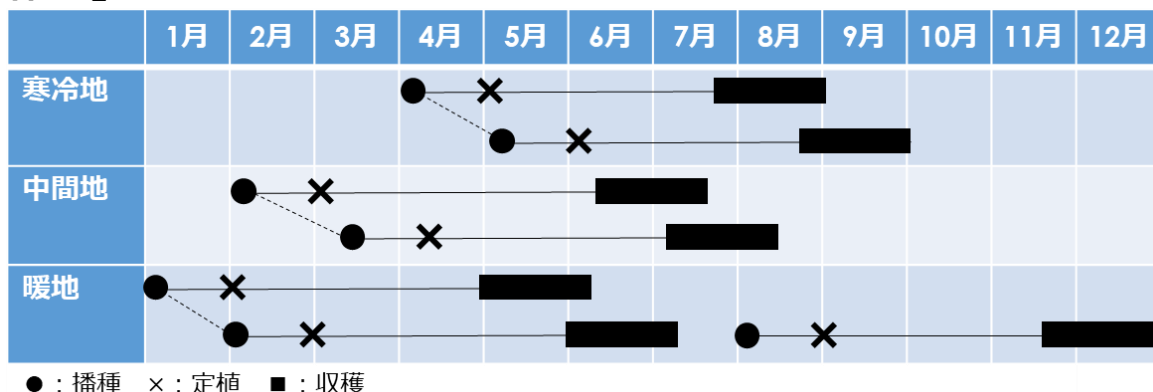
【特徴】

- 1.果実は1.8～2.0kgの整った偏円形で果実表面の凹凸少なく磨き作業が容易。
- 2.交配後40～45日で収穫できる早生種の大玉品種。
- 3.花粉が多く厳寒期でも着果が安定する。雌花の着生も安定しており多収。
- 4.やや大葉、葉柄は短く、葉折れ・倒伏少なく風に強い。
- 5.果肉は肉厚、肉質は粉粘質で、収穫後1週間程度で出荷可能。
- 6.中生の作型のは種では、栽培期間が短縮でき薬剤散布など軽減できる。

【栽培のポイント】

- 1.肥料は窒素成分で10a当り12～13kgとやや多めの管理とする。
- 2.草勢をやや強めに維持し、着果数を確保して多収を目指す。
- 3.草勢を維持するため、株元70cmから着果させるのが望ましい。
- 4.後半、草勢が大人しくなると2番果が小さくなるため追肥を行う。
- 5.厳寒期の作型では味響やプリメラエースがお奨め。

【適作型】





早生品種の新しい使い方 -遅く播いて早くとる-



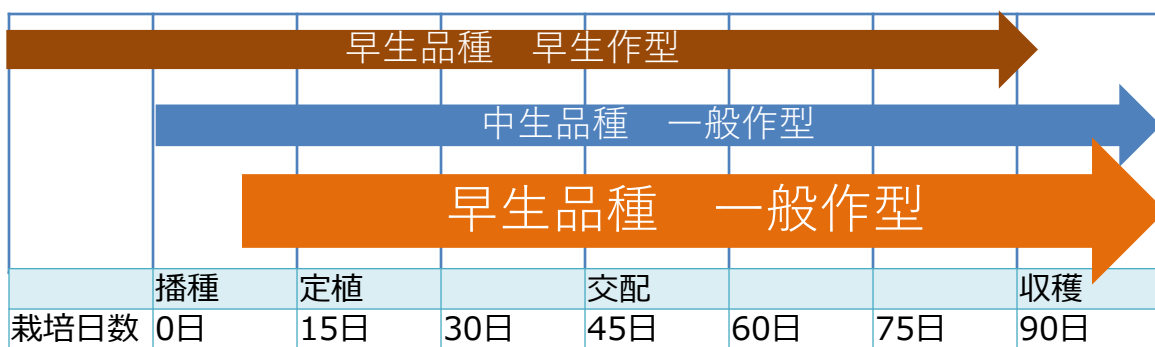
最近のカボチャのお悩み・・・

畑で長く栽培すると風やら寒さ
やら病気やら、何かと被害に
あってしまう・・・

最近は天候が悪くてカボ
チャが作りづらい・・・



早生品種を使って栽培期間中のリスクを減らしませんか！？
栽培期間を短くして、天候不順や病気を回避！リスクを低減！！

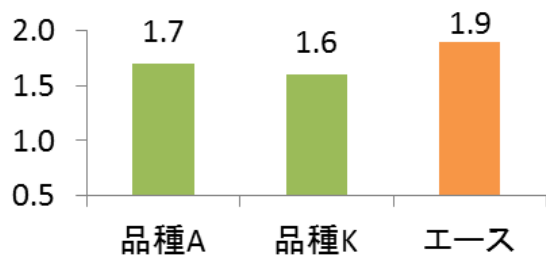


収量調査結果

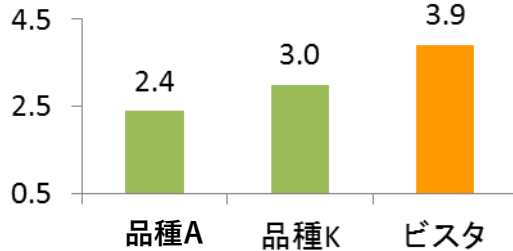
プリメラエース・ビスタは
早生良食味品種なのに安定して多収！！

栽培期間が
短くても収量
確保！！

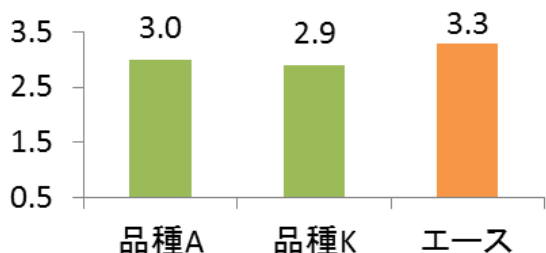
2019年北海道



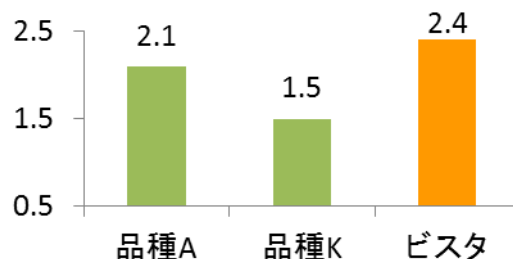
2019年千葉



2018年埼玉



2019年北海道



【現地試作調査結果（2021年倶知安町）】

調査項目	対照品種A	エース
開花期つる長	224cm	164cm
開花期葉数	11.4枚	11.0枚
開花期葉長	23cm	22.2cm
開花期草勢	中	中
着果節位	7.4節	7.6節
果重（平均）	1,600g	1,900g
果皮	緑	濃緑
花落ち大きさ	2.4cm	2.1cm
5-6玉率	59%	82%
食味※	3.0	3.3
粉質程度※	3.0	3.8
甘み※	3.0	4.0

つる長は短いが葉数・草勢は同じ＝コンパクトでがっちりした草姿。風にも強い！

着果節位は同等でも節間が短いのでより株元に近い位置で着果＝着果機会が多く収量安定に寄与

圧倒的な5-6玉率！強干ばつ下（2021年北海道）でも玉サイズ安定（下表参考）

粉質程度・甘味も強く、食味の評価も高かった

※食味調査（食味・粉質・甘味）：複数人による達観調査の平均（対照品種Aを標準3.0とし、5=食味良・粉質程度高として1～5の5段階で評価）



玉サイズ割合詳細

	対照A	エース
3玉	6%	-
4玉	17%	5%
5玉	31%	39%
6玉	28%	43%
7玉	6%	5%
8玉	11%	8%
9玉	0%	-
10玉	1%	-

【プリメラエース・ビスタの特徴】



安定の収量性

栽培試験結果（2019～2020）

試験地：埼玉県神川町・北海道士別市・北海道森町・沖縄県宮古島市

	埼玉 2019	沖縄 2019	埼玉 2020	士別市 2020	森町 2020
エース	1.44	1.51	1.60	2.35	2.67
ビスタ	1.56	1.47	1.63	2.66	2.91
品種A	1.22	1.33	1.38	2.18	-

玉肥大が安定しており、天候不順下でも安定した収量



形状よく、玉揃い抜群

表：5-6玉割合（試験地：北海道）

5-6玉割合	2018	2021 (現地圃場)
エース	82%	82%
対照品種	40%	59%

5-6玉割合	2019	2020
ビスタ	83%	83%
対照品種	68%	66%



2020年北海道
果揃いよく、5-6玉80%以上（聞き取り）

肥大が安定しているため、小玉（1.5kg以下）が少なく、5-6玉で揃う



作りやすい

- ・生育中庸、脇芽も強く出過ぎず整枝がしやすい。
- ・雄花、雌花の開花バランスがよく、着果性強い。
- ・果実肥大力が強く、早生品種でも5-6玉でまとまる。



プリメラエース・ビスタの特徴まとめ

- ・交配後40日で収穫できる早生品種
- ・玉肥大が安定しており、早生品種としては非常に多収
- ・栽培にクセがなく作り易い。
- ・非常に果揃いがよく、5-6玉中心に揃う
- ・エースは粉質度高く、相場を見ながらの出荷が可能
- ・ビスタは収穫後すぐにおいしい

短節間で省力化！ 果肉色良くカット売りにも最高

短節間の定番
食味の良い
早生品種

プリメラ117



品種特性

1. 果実は1.8kg以上の大玉。特に玉の揃いが良く灰緑色でやや腰高。
2. 交配後40～45日で収穫できる中早生種で、肉質は強粉質で甘味も強く大変おいしい。
3. 葉柄強く、葉折れ倒伏少なく風に強い。短節間で省力化。
4. 雌花着生は株元から発生し、着果は大変良く収量性が高い。
5. 作型は広く、ハウス・トンネル・露地栽培または抑制栽培にも適する。

	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
寒冷地					●	×			■			
一般地			●	×		●	×	■		■		
暖地	●	×		●	×	■	■	■		●	×	■



プリメラ117の特徴

- ①短節間で省力！
- ②肥大性よく安定して多収
- ③とってすぐ甘くておいしい。果皮色も濃く外観も優れる

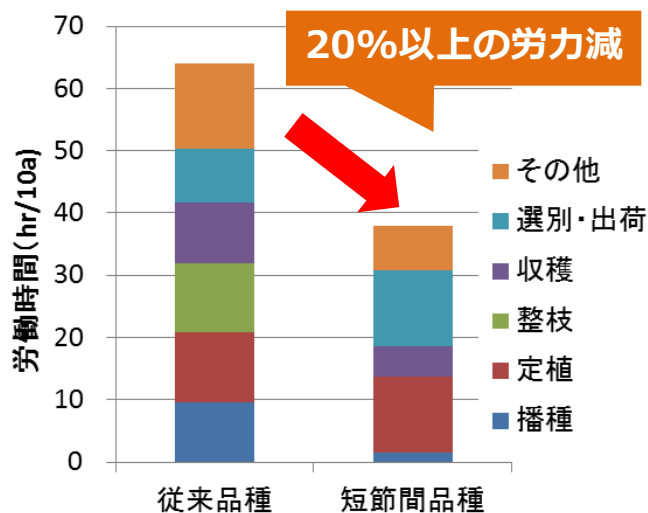


[試験データ]

①短節間性カボチャの省力性

短節間性カボチャは、

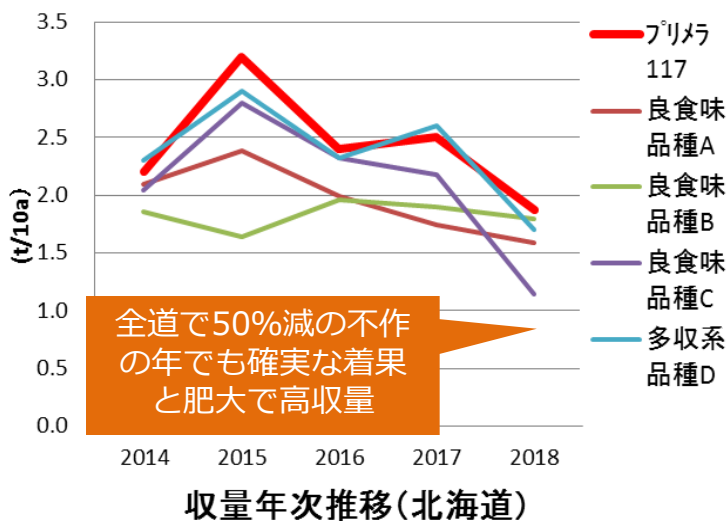
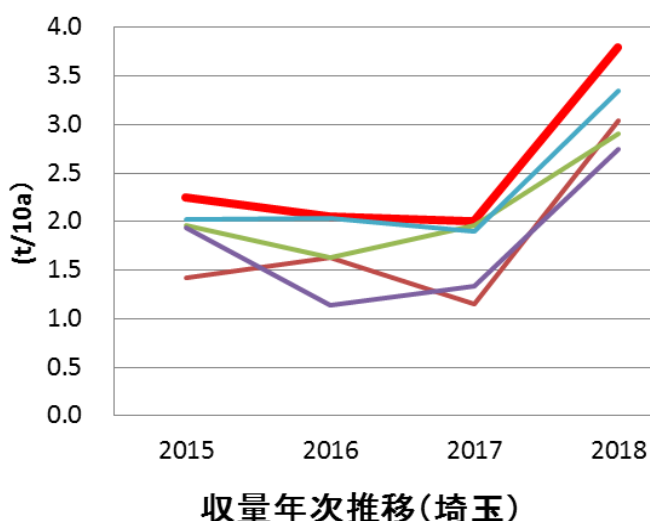
- 整枝回数を少なくできる
(側枝の発生がゆっくりであるため、まとめて整枝できる)
 - 収穫にかかる時間が少ない
(果実の着果位置がそろうため、カボチャを探す手間が省ける)
- などの特徴から、
省力的な栽培が可能



図：従来品種と短節間品種の作業時間の比較

「技術普及事例 新タイプかぼちゃの省力的多収栽培技術の確立」(北農 82(1), 108-115, 2015-01 より抜粋、一部改)

②安定して多収



プリメラ117の作り方（促成栽培）

■施肥と圃場

- ・肥料は窒素で8-10kg/10aを目安（一般地・標準的な畑）
- ・1本整枝とし、栽植密度 700～800株/10aとする

■播種～定植

- ・セルトレー育苗で省スペース・省力
- ・つる伸びするまでトンネルの開放作業を待てる



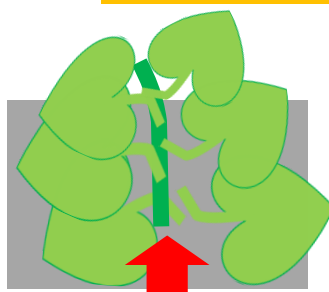
セルトレー育苗

■整枝作業

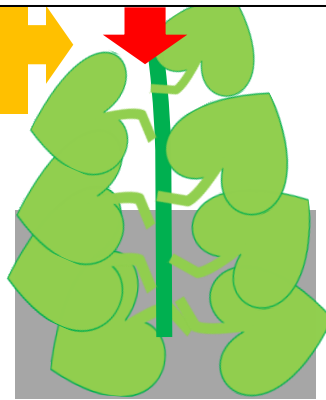
- ・1回目：つる先がマルチから出た頃に株元から入ってまず1回整枝
- ・2回目：つるがマルチから20-30cm出た頃につる先側から入って整枝
- ・整枝作業と同時に株元の雌花も摘花

つる先側から2回目整枝

着果位置
この辺りから



株元側から1回目整枝



■着果

- ・株元50cmから着果（整枝作業した位置あたり）
- ・着果後は放任で整枝作業省略できる

■着果後管理

- ・整枝、摘芯はせずに放任
- ・樹勢が強すぎる場合には状態を見て整枝・摘芯する
- ・樹勢がおとなしい場合は追肥・葉面散布（1-2kgN/10a程度）

■収穫

- ・着果位置が揃うため、果実を見つけやすい



■その他、プリメラ117の特性

- ・着果まではゆっくりだが着果後の肥大が早く、一般品種と同時期に収穫できる
- ・収穫後の糖度の上がりが早く、早出しでおいしい

[栽培事例①]

①茨城県、2017年促成栽培

【収量結果】

2.7 t/10a（推定） 対照品種 1.9t/10a（推定）

【耕種概要】

施肥：レオグリーン特号100kg/10a、Iノット055 60kg/10a
栽植密度：畝間 3.2m × 株間45cm、播種 3月23日、
定植4月8日、収穫7月11日、交配日5月26日～6月1日（マルチ外4-5節）

表：収穫果実重量割合

サイズ	プリメラ117 割合(%)	対照品種 割合(%)
3玉以上	9.2	0
4玉	18.5	20
5玉	46.2	18
6玉	20.0	18
7玉	4.6	18
8玉	1.5	14

4-6
玉で
80%
越え

ASAHI AGRIA CO., LTD.



Homepage



Instagram